

令和4年度 第4回赤磐市教育委員会定例会議事録

- 1 開会日時 令和4年 7月21日(木) 午後3時10分
- 2 閉会時間 午後3時57分
- 3 会議場所 赤磐市立中央図書館 1階 ボランティア室
- 4 出席委員 教 育 長 土井原 康 文
教育長職務代理者 大 崎 陽 二
委 員 山 本 賢 昌
委 員 平 松 由 香
委 員 遠 藤 益 恵
- 5 説明者 教 育 次 長 有 馬 唯 常
教育総務課長 金 島 正 樹
学校教育課長 森 本 治
社会教育課長 西 崎 雅 彦
中央公民館長 馬 場 弘 祥
中央図書館長 森 本 一 也
- 6 書 記 教 育 総 務 課 卯 善 幸 子
副 参 事

議 事

1 教育長等の報告

公 開 教育長の報告について

公 開 令和4年8月の教育委員会行事予定について

2 その他

公 開 次回定例会開催日について

※非公開の議事については、議事録は公開されません。

○土井原教育長 お待たせをいたしました。定例会、15時10分よりの開始とさせていただきます。

第4回赤磐市教育委員会定例会をこれより始めさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

委員の方全員出席をいただいておりますので、会議は成立しております。

今日の定例会の議事録に署名する委員は、山本委員でございます。

また、議事録の作成の職員は、教育総務課卯善副参事を指名しますので、それぞれよろしくお願いたします。

次に、議事録の承認でございますが、前々回、令和4年5月26日開催の第2回教育委員会定例会の議事録につきましてお目通しをいただき、ご異議等がなければご承認をいただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○土井原教育長 ありがとうございます。異議なしということございまして、第2回教育委員会定例会の議事録につきましては、ご承認をいただいたということで取扱いをさせていただきます。ありがとうございます。

続きまして、議事に移ります。

本日の会議に付議された案件は、（1）教育長等の報告、（2）その他についてでございます。

それでは、早速（1）教育長等の報告に移ります。

初めに、教育長の報告について報告いたします。

1ページをお開きください。

前回の協議会、定例会が6月16日に行われまして、一昨日、教育長連絡会議が7月19日に岡山市であり、その関係でございます。この中で主立ったものだけを幾らか説明をさせていただきたいと思っております。

まず、6月23日に主任児童委員の研修会を行いました。各地区の主任児童委員さん、10人弱ですけど、事務局担当の方と一緒に教育長室で、さいころを転がしたようなワークショップを取り入れて行いました。それぞれの地域の課題等についてはしっかりお聞きする機会はなかったんですけども、話題にさせていただいたのが児童虐待、189の番号でつながる児童相談所ですよね。それから、ヤングケアラー。このヤングケアラーにつきましては、議会でも議員さんからご質問があったりしてるんですけども、まずケアラーに

つきましては、教職員を含めて向こう2年、3年かけて言葉の定義、それから周知をしていくというのが今、国のほうの方針でもありますし、そういった形で主任児童委員さんにはお知らせをさせていただきました。

それから、6月、その次の24日には、幼稚園の先生方とか、園長さんも数名参加しました研修会をひかり幼稚園でやってきました。これも、和気あいあいとした雰囲気の中で、夏休みに向けてエールを送ったような形でさせていただきました。

あと、7月1日に偉人マンガ製作活用懇話会がございまして、前回の会議でも皆様にお知らせをしたような形で進んでいって、年度内の完成を目指してやっているとございまして。

それから、少し遅くなったんですけども、7月6日に学校給食の共同調理場の運営委員会がございました。山本委員には委員長として出席いただき、誠にお世話になりました。ありがとうございました。

それから、新しいところでは、7月11日月曜日に学校運営協議会、いわゆるコミュニティ・スクールですけども、これが瀬戸南高等学校で行われたところにお席をまいりました。本年度、県立学校で全部でたしか14校だと思うんですけども、およそ3分の1の県立学校がコミュニティ・スクールを導入しております。将来的には全校ということでございまして、6月28日にあった和気閑谷学校が県内では平成29年度に立ち上げられて、トップバッターを切られてるんですけども、そのノウハウも加味されながら瀬戸南高校では地域に貢献できる高校だとか地域とともに歩む高校だとかということでやっております。この瀬戸南高校へは、赤磐市内からの子どもがおよそ3分の1ぐらい通学しているという状況でございます。

あと、協議会でも少し話題になりました第二次山陽遺跡整備委員会が7月11日にありまして、それぞれ委員の先生方からは、今後のことについての活用も含めてご指導とかをいただいた次第です。

それから、7月19日火曜日でございます。先般教育長連絡会議が岡山市内でございまして、そのときの主な話題が中学校の今後の部活動の在り方が1点目。2点目がコミュニティ・スクールの運営とか実施に向けてのことが話題になりまして、結構それぞれ市町村、実態は違うんですけども、どこの市町村も部活動、コミュニティ・スクールも含めて積極的に取り組んでいるという様子が伝わってきました。本市におきましては、磐梨中学校が国の指定を受けまして、モデル事業で取り組んでいるところでございます。それぞ

れ担当の磐梨中はじめ、他の中学校の校長、担当さんも含めて、熱心にこれからも研究しながら赤磐モデルとして取り組んでいってもらうように、こちらを期待しております。

以上、簡単ですが教育長の行事報告とさせていただきます。

ご質問等あればお受けいたします。

○山本委員 はい。

○土井原教育長 はい、山本委員。

○山本委員 偉人マンガ製作活用懇話会でどんな話が出たのかというのがもしもあれば教えていただきたいのと、偉人漫画の制作で、大体漫画の版が出てきたときにそれを見せてもらって、ここをもっと変えたほうがいいのか、そんなことが言える機会があるのかというのを教えていただければと思うんです。

○土井原教育長 まず、1点目ですが、それぞれ皆さんお立場がございまして、私もこのメンバーの中には、6人でしたか、6人の中の1人で、お一方は欠席されてて、小学校長会からの代表だとか、それから地元からだとか、それからいわゆる元詩人というか、詩をたしなむ方で、永瀬清子さんも研究されておったようでございまして、内容としましては西崎課長が取りまとめて話をします。

どうぞ。

○西崎課長 はい、教育長。

はい、社会教育課西崎です。

当日は、会議資料のほうもまだ何もそういうたたき台的なことがなかったので、顔合わせ的な会議でございまして、その中でも事務局、担当しております熊山分室の白根のほうから、ストーリーの概要という形で、イメージ的なものなんですけれども、永瀬清子さんの母との関り、それから誕生日と命日が一緒であるとか、ウグイスと梅ですとか、名前が和気清麻呂の清を取ったとか、それから幼年期の金沢でのエピソードですとかそういった場面場面を紹介いただいたんですけど、それが、ほんなら漫画にしたときにどれぐらいのボリュームになるのかいうのを、想像がつかない話なので、今後業者が決まってから具体的にそういう形で進めていくと思います。

それで、会員さんのほうからも、人生の中で大事にしてきたこと、清子さんがいろいろ学んできた姿ですとかそういったものが表現できたらとか、それからやはり熊山を思い浮かべるような、例えば詩を掲載したりだとか、そんな意見、それからできた後の、県内の学校にも配布してはどうかというような、活用も含めた意見をいただいております。です

から、今、業者も決まっておりますので、今後そういったイメージといたしますか、漫画もある程度シナリオ的なものも含めてできてから、また委員さんにご意見をいただくという形になろうかと思えます。

○土井原教育長 2点目のそれぞれコメントできるか。多分その場はないと思えます。懇話会の中で提示されたりだとか、懇話会のための委員会ですから、それを広く、あまねく、例えばコメントをいただくとかというんでは制作が間に合いませんし、それから監修をしていただく委員さんも別途時代背景を含めてありますので、そういった形で早急に進めていかなきゃならないというふうに認識しております。

はい。

○山本委員 もう言う機会がないので、ぜひ何らかの、世界連邦運動をやったこととはぜひ入れるように懇話会に。

○土井原教育長 それは既に入っております。ご心配なく。職歴の中でも当然入ってくる話。どの程度のボリュームで触れるかというのは、それはこちらの意図が今度描かれる方にも伝わっていかねばならないし、監修していただく方からのまたコメントもいただきながらということで、この懇話会は、あくまでもこんなイメージでというふわっとした感じの会であるので、だから皆さんが自由に意見を発しながら事務局のほうへ提案していったという形で行いました。乞うご期待ということで。

○山本委員 ぜひ県内には配布するけど、どんどん版を重ねて、どんどん売れていくと。何十万部も売れるようなものにしていただきたい。

○土井原教育長 非売品ですよ。

○山本委員 非売品なんですか。

○西崎課長 そうです。

○山本委員 売らないんですか。

○土井原教育長 はい、どうぞ。

○大崎教育長職務代理者 どんな漫画になるか、まだイメージが湧いてこんなような話もあったけど、私らが思うのに、例えば学研がよう人物の伝記みたいなやつを出してますよね。あんな感じになるいうて思うときゃええんですか。それよりもっと薄っぺらいものになる。

○西崎課長 教育長。

社会教育課西崎です。

ページ数でいえば、100ページぐらいのボリュームになります。当初私もイメージし
とったのが、いわゆる生涯を100ページの間で描くのかなというイメージだったんです
けれども、ご意見として、例えばさっき言ったような要所要所のポイントを20ページず
つで5部構成といいますか、そんなことも面白いのかなというふうな意見もいただいたの
で、最終的にどういう形になるか分からないんですけど、ページ数としては大体100ペ
ージぐらいのボリュームです。

○山本委員 はい、いいですか。

非売品ということらしいんですけども、ぜひ売ってもらいたい。県内だけ配って終わり
だったら寂しいんで、世界中に広まるように英語版を作るとか、どんどん広げてもらわ
ないと、永瀬清子の健闘というか、赤磐市に永瀬清子ありというのを世界中に知ってもら
う、世界中って大きいですけど、日本中には知ってもらわないといけないと思うので。

○土井原教育長 西崎課長。

○西崎課長 はい、社会教育課西崎です。

ありがとうございます。B&G財団の助成金を頂いている事業でして、ふるさとのゆか
りの人物というか、偉人の活用というのも含めての作成ですので、基本的に今の想定では
1,000部ぐらいを印刷するんですけども、これを小学校に配布したりという形だけ
でもかなりの数になろうかと思えます。これを単年でいいのか、例えば2年、3年いう形
で続けていけばいいのかという形で、増刷のほうも考える必要もあるかなとは思っている
んですけども、販売については、販売していいのかどうかいうのを確認してみたいと思
います。

○山本委員 よろしくをお願いします。

○土井原教育長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○土井原教育長 ありがとうございます。

続いて、令和4年8月の教育委員会行事予定について、それぞれの所属長よりお願いし
ます。

○金島課長 はい、教育長。

○土井原教育長 金島課長。

○金島課長 はい、教育総務課金島です。

8月の教育委員会行事予定について説明させていただきます。

資料は、2ページ、3ページをお願いいたします。

主立ったものを各所属から順次説明させていただきます。

まず、教育総務課からです。

8月3日水曜日、民生委員推薦会を10時から教育長の出席でございます。

8月8日、教育委員会事務点検評価委員会、10時から教育長の出席でございます。

8月10日水曜日、教育委員会の所属長会を16時から教育長の出席でございます。

8月18日、教育委員協議会を14時から、定例会を15時からとなっております。教育長、教育委員の皆様の出席でございます。すいません。ここに1点追記をお願いいたします。総合教育会議を11時から、こちらも教育長、教育委員の皆様の出席となります。よろしくをお願いいたします。

23日火曜日、校長教頭研修会、13時から教育長の出席でございます。

26日金曜日、交通安全対策協議会総会を14時から教育長の出席でございます。

教育総務課からは以上です。

○土井原教育長 ありがとうございます。

すいません。この中で23日の火曜日の研修会ですが、時間が「10時」に変更となっております。すみません。私のほうが伝えそびれておりました。

続いて、学校教育課、お願いします。

○森本課長 はい、学校教育課森本です。

それでは、学校教育課と、併せて学校給食センターのほうも説明させていただきます。

学校教育課ですが、まず1日に諸表簿点検です。

それから、3日も同じく諸表簿点検をします。

それから、4日木曜日ですけども、3市1町ヤングリーダー研修会、佐伯のサエスタのほうで行われます。

それから、5日、諸表簿点検の幼稚園ですね。それと、市の初任者研修ということでございます。

それから、8日月曜日も幼稚園の諸表簿点検があって、10日水曜日から16日まで学校園が閉庁ということになります。

それから、23日火曜日に、働き方改革ボトムアップ研修ということで研修会のほうを実施します。

それから、8月29日月曜日が小・中学校の2学期始業式となります。

続いて、学校給食センターですけども、8月は1件だけです。

8月2日火曜日、栄養士会、東給食センターのほうで行われます。

以上です。

○土井原教育長 続いて、社会教育課、お願いします。

○西崎課長 はい、社会教育課西崎です。

10日水曜日、県市長会の視察、熊山運動公園で13時40分からの開始でございます。

18日木曜日、資料館講座「銅鏡作り」、山陽資料館で10時からの部と13時からの部。それから、同じく19日も「銅鏡作り」、10時からの部、13時からの部。4部構成で行います。それから、現代詩講座、熊山公民館で13時30分からの開始です。

27日土曜日に、歴史まなび講座第2回、中央公民館で13時30分からの開始でございます。

以上です。

○土井原教育長 はい、続いて公民館、お願いします。

○馬場館長 はい、中央公民館長馬場。

公民館では、夏休みに入りまして、各公民館において児童・生徒向けの講座や教室が予定されています。

主立ったものを報告します。

まず、1日に中央公民館では夏休み宿題応援の「ポスター教室」。

それから、7日にじんけん講座。

それから、8日に「SDGsってなんだろう」と題して、夏休みの宿題応援講座を開催します。

それから、山陽公民館においては、2日に「卓球を楽しもう」、それから飛びますけれども、25日に夏休み子ども科学教室が開催されます。

それから、熊山公民館では、2日、小中学生作文教室、こちら、3回開催されます。

それから、吉井公民館においては、3日から算数教室が5回に分けて開催されます。

それから、6日には、初心者どきどきキャンプ教室も行われます。

それから、赤坂公民館においては、4日に子ども電気教室が開催されます。

それから、高月公民館においては、7日、それから21日に子ども将棋教室が開催されます。

公民館からは以上になります。

○土井原教育長 ありがとうございます。公民館につきましては、夏季休業中の、いわゆる旬の夏季休業中、夏休みならではの講座をこういった形で展開をできている。順調に、コロナの中のことではありますが、できたらいいなというふうに願っております。

続いて、図書館、お願いします。

○森本館長 はい、図書館長森本です。

図書館も、同じように子ども向けの行事を中心に計画しております。

3日がドライアイスを使った科学実験教室、中央図書館です。

それから、7日は地区図書館、赤坂・熊山・吉井3ついっしょに図書館フェスタ、赤坂図書館で開催をいたします。

20日の土曜日、きらり☆しあてーで子ども向けの「ダーウィンが来た！」の映画を上映いたします。

27日が夏休みのおはなし会、中央図書館です。

30日が赤ちゃんへの初めての絵本配布事業を予定しております。

以上です。

○土井原教育長 図書館におきましても、夏休みならではの事業を展開されるようです。ありがとうございました。

委員の皆さんからご質問とかございませんでしょうか。

○平松委員 はい。

○土井原教育長 はい、平松委員、どうぞ。

○平松委員 はい、平松です。

学校教育課の行事のところに水泳大会とかないんですけど、夏休み、今までは水泳大会があったのかと思うんですけど、コロナの関係でないのでしょうか。

○森本課長 はい。

○土井原教育長 はい、森本課長。

○森本課長 学校教育課森本です。

すいません。私の記憶が少し曖昧ではあるんですが、市の水泳大会という、恐らくこれはもうなくなったと思います。

○平松委員 なくなった。

○森本課長 はい。実際なくなる前も、かなり高温になってということで中止というふう

な状況もあったというふうに聞いてますので、そういうふうな経緯だと思うんですけども。市の水泳大会のほうは、今なくなっているということですね。

○平松委員 このままないってことですね。

○土井原教育長 大崎委員。

○大崎教育長職務代理者 はい、大崎です。

聞いたところによると、今課長さんが言われたように、どっちかいうと、コロナもあるんだけど、暑うて熱中症の指数、あれ、絶対超すので、だからやりようがねえいうか、今まで無理してしょうたんだけど、コロナが感染したのを契機に取りあえずここで休みましようということで、あれから市の水泳記録会、東備の水泳記録会、どちらももう多分できんと思います。ほんで、何もねえんかいうたら、小学生なんかで水泳の1級バッジとか2級バッジとか申請するのに、学校の中で練習するだけのタイムでは出せないの、今日吉井町の小学校では、城南と仁美と一緒に、昔あったんですけど、町の水泳記録会みたいなんをしてから記録を計ってやるいうてから昨日聞きました。

○平松委員 ああ、そうなんですね。

○大崎教育長職務代理者 はい。

○山本委員 はい。

○土井原教育長 はい、山本委員。

○山本委員 水泳大会のことなんですけど、今までどこで、屋外のプールでやってたんですか。例えば、山陽ふれあいプールの冷房を効かせてやれば。あそこは、冷房は効かないんでしたっけ、プールのところ。

○土井原教育長 じゃあ、関連して私から言いましょうか。

はい、土井原です。

具体例を1つ申し上げます。

先ほど大崎委員が言われた気温の関係で、7月の頭に、ある学校を訪問したときに、3時間目までしか水泳はしておりません。なぜかという、水温が31度、気温が32度、足したら63度ですか、それと併せて指数がありますので、それだと到底環境としては泳がせんべきだということなんです。水に入るとるからええというもんでなくて、ずっとつかりっ放しじゃないんですよ。外へも。それから、先ほど言われた記録会については、東備地区の分も山陽ふれあい公園をお借りしてした部分も、二、三年ほど前から中止、コロナに合わせてかな、もありました。たしか市の、これ、陸上も含めてですけど

も、市の陸上も中止、もしくは休止してたのかはっきりしたところ。

○大崎教育長職務代理者 だと思いますね。あれはコロナの関係。

○土井原教育長 ですよ。I P Uの陸上競技場、1周300メートルをお借りしてたこともあったんですけども、そういった状況でございます。本来の夏休み、夏季休業中に子どもたちに何を体験してもらうかということは、別に家庭に返す、地域に返すわけじゃないんですけども、いろいろご不便をおかけするかもしれませんが、そういった形でいろいろ工夫した中での過ごし方も考えてもらいたいというふうに思ってます。

○山本委員 さっきのふれあい公園のプールは、冷房はないでしたっけ。

○土井原教育長 記録会のときには、そこは冷房はかけません。

○山本委員 かけない。

○土井原教育長 はい、天井を開けて、閉じとったら中は非常に暑いですから。

○山本委員 というか、冷房がかかるんだったら、冷房をかけて記録会をしてあげたほうが張り合いが出ていいんじゃないかと。

○大崎教育長職務代理者 それが、プールのところに屋根がつきますわね。

○山本委員 はい、ありますよね。冬は、ちゃんとあれを閉じて。

○大崎教育長職務代理者 夏、水泳競技会しょうて、天気の良い日は、あれは開けとんですよ、風通しがええように。ほんで、雨が降ったとき閉めるんですけど、子どもが待つとんですよ。プールサイドのところにテントを張って待つんですけども、何ぼ直射日光が当たらんとはいいながらも、物すごい暑いところに子どもがぎゅうぎゅうに座ってじっとするというのは、やっぱり大変じゃろういうようなことも。

○山本委員 なるほど。

○大崎教育長職務代理者 大分前からずっと聞いております。

○山本委員 分かりました。

○土井原教育長 ほかには何か。よろしいですか。

○遠藤委員 はい。

○土井原教育長 はい、遠藤委員、どうぞ。

○遠藤委員 はい、遠藤です。

公民館行事のことでお伺いたします。

小・中学校作文教室というのが3日にわたって行われているんですが、こちらは、この3回とも同じメンバーで3日間にわたって行われるということでしょうか。教えてください

い。

○土井原教育長 はい、馬場館長、お願いします。

○馬場館長 中央公民館長馬場。

熊山公民館の小中学生の作文教室ですけれども、講師の方は3回とも同じにしています、和気閑谷高校の非常勤講師の方に来ていただいて、対象は小学生と中学生で、3回とも受けれるようにという形の内容の講座になります。

以上です。

○土井原教育長 よろしいですか。

○遠藤委員 はい。

○土井原教育長 はい、どうぞ。

○遠藤委員 引き続きですが、実は私、これ、講師を以前したことがあったんですけれども、2年ほどやったんですけれども、とても人気の講座でして、お母さんたちも子どもたちも、これをきっかけに、例えば宿題が1つ済むとか、佳作に入りました、入選しましたとかいって、とても感謝されておりまして、終わった時点で来年も参加しますというような感じで、各ご家庭すごく熱量が強いですね、毎年参加してますというような形で。兄弟で参加したりすると、参加できる家庭が非常に少なく、毎年同じ方ばかり参加してるというような印象を持つ講座でして、非常に人気があるがために、毎回申込みと同時に定員に達してしまうというような感じの人気講座なんです。

ですので、なかなか難しいかと思うんですけれども、例えば午前中の部と午後の部と分けて、できるだけたくさんの方が参加できるような講座になればいいなと思うんですが、運営上なかなかそれも難しいかと思えますし、講師の方を見つけるのも大変なことだというふうに聞いてます。

また、運営される図書館の職員さんのほうも、きっと大変な思いをされて運営されておると思えますし、なかなか日程的にも難しいと思えますが、そういうような実情もあるということをお伝えしたいのと、あとまたそのほかにもたくさんこうして講座を開催されておりまして、非常に子どもたちとしてはいろんな方面の教養を身につけられたり宿題の助けになったりというようなことで、非常にご家庭でも感謝されている講座ばかりですので、私からもこれぐらいたくさん行事を持っていただいて本当にありがたいなと思って感謝しております。ありがとうございます。

○土井原教育長 ありがとうございます。

館長、よろしいですか、このことは。

○馬場館長 はい。

○土井原教育長 はい、馬場館長。

○馬場館長 中央公民館長馬場。

小中学生の作文教室につきましては、吉井公民館でも7月に同じ講師で同じ3回シリーズを開催しておりますし、おっしゃられるとおり、宿題に関する作文ですとか、あと中央公民館で開催してるポスター教室なんかも、7月1日のポスター教室は、募集したんですけども、9時開始と同時にいっぱいになるような状態で、これからもそういった子どもの夏休みの宿題の援助を、いいのか悪いのか分かりませんが、そういった企画をできるだけ開催しようと考えています。

以上です。

○遠藤委員 ありがとうございます。

○土井原教育長 ありがとうございます。

実は、今日の午前中に公民館運営審議会がありました。その中で、私、開会のときに、いろんな社会教育を展開していく講座とかをしていく中で、一つに必要な課題と要求課題というのがありますということを提示させていただきました。要求課題というのは、学習者、市民の方が自分がこれをしたいな、あれがしたいな、これを公民館でしてくれんな。必要課題というのは、人権だとか、それから子育てだとか、今からでしたら終活だとか保健福祉だとか、そういったことで今の社会問題を勉強しなければならないのが必要課題です。それを織り交ぜてやっていくのが公民館、教育機関としての役割だと思うんですよ。

まさにこのさっきから公民館の夏休みに合わせた旬のというのは、これは、ある部分必要課題と要求課題がうまくマッチングできているのかなど。それは、逆に言うと、子どもではなくて保護者の要求課題を満たしているのかなということもあるし、学校現場ではなかなか日常の授業の中でポスターの製作につけた指導だとか、それから作文指導、なかなかそれを集中してということは今の時代非常に難しくなっていますので、それも渡りに船かなというような感じで聞かせていただきました。

ほかにはございませんか。

山本委員、どうぞ。

○山本委員 夏休みの宿題で、出されたものは早めに片づけたんですけど、感想文と作文

とポスター、絵画だとか、一番最後まで残ってたんで、私の頃にもこういうのがあれば参加して、その場で書いて、帰りに提出して、そういうことを思うんで、非常にいいことだと思うんで、ぜひたくさんの方が参加できるように数を増やしてもらえればと思います。

それは別として、もう一つ、8日の月曜日に夏休み宿題応援ということで、「SDGs ってなんだろう」というタイトルであるんですけども、これは一体、宿題としてSDGs について考えて何か書けみたいな、そういう宿題が小学校か中学校で出てるんでしょうか。

○土井原教育長 はい、馬場館長。

○馬場館長 中央公民館長馬場です。

中央公民館で開催予定の「SDGs ってなんだろう」という教室ですけども、子ども向けに夏休みの自由研究の助けになればと思って開催します。SDGs について、内容はゲームとかをしてもらってSDGs について学んでもらうということで、そういった内容で開催をさせてもらおうというものです。

以上です。

○山本委員 分かりました。

○土井原教育長 よろしいですか。

○山本委員 学校から特にSDGs というテーマが与えられとるわけじゃなくて、学校で出てる自由研究をしてくださいの中の一つの案としてSDGs はどうでしょうみたいなことを公民館が提案してやってみるということで。

○馬場館長 はい。

○土井原教育長 はい、馬場館長。

○馬場館長 公民館長馬場。

はい。特にこのSDGs、それから人権については、今年度の公民館の講座としてテーマとして掲げると聞いてますので、今回、子ども向けということでSDGs と、それから人権も子ども向けの講座のやつを夏休み期間中に企画させていただきました。こちらから提案した企画です。

以上です。

○山本委員 ありがとう。ぜひこれも、やっていただきたいテーマなので、よろしくお願いいたします。

○土井原教育長 先ほど館長が言っていましたように、SDGs、それぞれの講座の中での

こういう位置づけ、17のゴールと関連づけながら今年度は展開していくような形で私も
お願いしていますので、また注視していただきたいと思います。ありがとうございます。

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○土井原教育長 ありがとうございます。

○森本課長 すいません、1点修正、すいません。

○土井原教育長 はい、どうぞ、森本課長。

○森本課長 学校教育課森本です。

「8月23日」とお伝えしたボトムアップ研修が、これ、「24日」でした。申し訳ご
ざいせんでした。24日に働き方改革ボトムアップ研修でございます。

○土井原教育長 1か所訂正がございましたので、ご確認ください。

それでは、以上で付議案件につきましては終了させていただきます。ありがとうございました。

続きまして、(2)その他について何かございませんでしょうか。

○山本委員 はい。

○土井原教育長 山本委員、どうぞ。

○山本委員 このSDGsとちょっと関係してるんですけども、国際貢献の講演会を各中
学校でやって開催するという企画が、今の進捗状況はどんなのかというのを教えていた
ければと思います。

○森本課長 はい、学校教育課森本です。

○土井原教育長 はい。

○森本課長 すいません。まだ現在のところそれについての状況がどうなのか、申し訳ご
ざいせん、把握がまだできておりませんので、把握をさせていただいてお伝えさせてい
ただきたいと思います。

○西崎課長 教育長。

○土井原教育長 はい、西崎課長。

○西崎課長 はい、社会教育課西崎です。

一応社会教育課のほうで5中学校分の講師謝礼代を計上して、学校のほうにもお願いを
している段階です。まだまだ私も今把握してるというか、手を挙げていただいている学校は
今ないと思ってるので、こちらからまた売り込みをしていきたいなと今考えているところ

です。

以上です。

○土井原教育長 よろしいでしょうか。

ほかにはございませんか。

はい、平松委員、どうぞ。

○平松委員 はい、平松です。

仁美小学校のプールの件についてお尋ねします。

本年度は、プールが故障してB & Gのほうにプールの授業で行ったと聞いてるんですが、今後プールを直してくれる予定があるのか、もうこのままずっとB & Gに通うのか、保護者の方がいろいろ聞かれていますので、もし分かることがあったら教えてください。

○金島課長 はい。

○土井原教育長 はい、金島課長。

○金島課長 はい、教育総務課金島です。

仁美小のプールについて、故障が発見されたということで今回はB & Gでされたということです。基本的には、プール、そういったことが見つければ、どうしても授業に支障を来すものなので、直していく方向では思っております。ただ、学校とその辺は十分協議をして対応、今回みたいな、もしも学校でプールを管理するのもかなり手が要ったりすることもありますので、そういったことを踏まえて学校と協議をして、今後どういうふうに向性を示すかというのは決めていきたいと思っております。

以上です。

○土井原教育長 よろしいでしょうか。

○平松委員 はい、いいです。

○土井原教育長 いいですか。

ここで暫時休憩します。

〔休憩〕

○土井原教育長 じゃあ、休憩前に引き続き戻りたい。

先ほど来、その他の案件でございますが、ほかにはございませんか。

○山本委員 はい。

○土井原教育長 はい、はい。

○山本委員 国際貢献の講演会の話の続きなんですけども、いつ頃学校に言って、いつが

締切りなのかというのを教えてもらいたいなと思ひまして。締切りが近いんだしたら早くもっと宣伝しないと、申込みがなかったら寂しいというか。なので、教えてもらいたいです。

○西崎課長 はい。

○土井原教育長 はい、西崎課長。

○西崎課長 はい、社会教育課西崎です。

詳細につきましては、4月の校園長会でまとめて提示をさせていただいたんですけど、4月の校園長会というのがかなり事業数的には多いので、よういただいてないのかなという部分もあります。期限は特に設けておりませんので、今年度中に実施していただければオーケーですので、これから各校に声かけをしてまいりたいと思ひています。

○山本委員 よろしくお願ひします。

○土井原教育長 ほかにはございせんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○土井原教育長 特にないようですので、では次回定例会開催日について、事務局、お願ひします。

○金島課長 はい、教育長。

○土井原教育長 金島課長。

○金島課長 教育総務課金島です。

次回定例会開催日について説明させていただきます。

今回は、令和4年8月18日午後3時からとなっておりますので、よろしくお願ひいたします。

以上で説明を終わります。

○土井原教育長 次回、8月18日午後3時でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

では、これもちまして付議されました案件すべて終わりましたので、以上もちまして令和4年度第4回赤磐市教育委員会定例会を閉会とさせていただきます。

委員の皆様にはご参加誠にありがとうございました。